

長崎の離島から集まった高校生たちが、
福山雅治さんと一緒に島の未来について本気で話し合った1日
「長崎ブルーアイランズ・ミーティング」
— その様子を動画にして3月2日(月)から公開 —

- 動画 URL: <https://youtu.be/cPrrOmS5L4Q>
- 特設サイト: <http://nagasakiblueislands.jp/>

福山雅治さんがクリエイティブプロデューサーを務める「長崎ブルーアイランズプロジェクト」の一環として長崎の島々から集まった高校生と大人たちが、島の未来を本気で考える「長崎ブルーアイランズ・ミーティング」が昨年11月、長崎県庁で開催されました。

今回のミーティングに参加したメンバーは、普段は会うことのない対馬、壱岐、五島列島等に住む長崎の離島の高校生26名及び、Uターン・Iターン等の移住者を含む各島で活躍されている大人6名の計32名。

福山雅治さんが中心となって会議を進め、全国的にも特に人口減少が大きな課題になっている各島の将来について、本気で考え、熱く話し合いました。

このたび、一日のミーティングの様子を約8分間のスペシャル動画ムービーにまとめ、3月2日(月)から公開します。



【本件に関する報道機関の方のお問い合わせ先】

長崎県総務部 広報課 報道企画班

TEL: 095-895-2021、FAX: 095-828-7665

<「長崎ブルーアイランズ・ミーティングの概要」>

【実施日】 2019年11月9日（土） 8：30～15：00

【場 所】 長崎県庁 8階展望室・展望テラス （長崎市尾上町3-1）

【内 容】

1. 島民による島の仕事や生活の紹介
テーマ①「地元の人が語る：島に生きる魅力とは？」
テーマ②「Iターン者が語る：外から見た島の魅力について」
テーマ③「Uターン者が語る：島に戻ってきた理由」
 2. テーマ毎に高校生からの質問
 3. 高校生によるワークショップと発表
①「福山さんが島に対して、何でもやってくれるとしたら何をしてもらおう？」
②「人が集まる島にするために何をしますか？」
- ランチタイム（福山さんと参加者全員によるフリートーク）
「長崎ブルーアイランズプロジェクト」特製の幕の内弁当
*それぞれの島産の食材を使い「ホテルニュー長崎」の料理長が監修

【参加者】 *敬称略

- 福山雅治
（長崎ブルーアイランズプロジェクト・クリエイティブプロデューサー）
- 島の高校生 26名（7島の13校から各2名、高校1～3年の男女）
 - ・ 対馬高校（男子1・女子1）、豊玉高校（女子2）、上対馬高校（女子2） / 対馬島
 - ・ 壱岐高校（女子2）、壱岐商業高校（女子2） / 壱岐島
 - ・ 北松西高校（男子1・女子1） / 小値賀島
 - ・ 宇久高校（男子2） / 宇久島
 - ・ 上五島高校（男子1・女子1） 中五島高校（女子2） / 中通島
 - ・ 奈留高校（女子2） / 奈留島
 - ・ 五島高校（男子2）、五島南高校（男子1・女子1）、五島海陽高校（女子2） / 福江島
- 島の大人たち 6名
 - ・ 上野芳喜（対馬島：対馬エコツアー代表 / 対馬 CAPP 代表）
 - ・ 太田充昭（中通島：太田製麺所代表）
 - ・ 安永優希（宇久島：佐世保市地域おこし協力隊）
 - ・ 山家ヤスエ（福江島：「Dunnas」代表）
 - ・ 吉野理（壱岐島：男嶽神社・八幡神社 宮司）
 - ・ 岩永太陽（小値賀島：島宿「御縁」オーナー）
- 中村直史<司会>
（長崎ブルーアイランズプロジェクト・クリエイティブディレクター）
*五島列島なかむらただし社 代表

【備 考】

ミーティングを約8分間のムービーにして3月2日（月）から公式WEBサイト等を通じて一般に公開します。

<長崎ブルーアイランズ・ミーティングの様子>



「長崎ブルーアイランズプロジェクト」は、長崎県出身であり、本事業のクリエイティブプロデューサーである福山雅治さんとともに、日本一の数を誇る本県の島々の魅力を発掘し、独特な風土、歴史と文化、美しさを県内外に伝え、活性化を図る取り組みです。

- 長崎の島の魅力を伝える「長崎ブルーアイランズプロジェクト」
Web サイト (<http://nagasakiblueislands.jp/>)
Facebook ページ (<https://www.facebook.com/nagasakiblueislands/>)

<ムービーストーリー>



NA

「長崎にはたくさんの島がある。」

「たくさんの魅力がある。」

「たくさんの課題も。」

「島の高校生は、卒業したら島を離れる。」

「どんなに島のことが好きでも、島を離れ、
その多くは、戻らないという。」

「せめて、島を離れる前に、島のことを知っておいて欲しい。」

「そう考えて、それぞれの島から、
大人たち、高校生たち、
ふだん交流することのないみんなに
集まってもらった。」



S

・島の大人たちは、どんな仕事をしてるんだろう？

- ・ 対馬島 上野芳喜さん (対馬エコツアー代表)
- ・ 中通島 太田充昭さん (太田製麺所代表)
* 五島手延うどん体験
- ・ 宇久島 安永優希さん (佐世保市地域おこし協力隊)
- ・ 福江島 山家ヤスエ (「Dunnas」代表)
- ・ 壱岐島 吉野理さん (男嶽神社・八幡神社 宮司)
- ・ 小値賀島 岩永太陽さん (島宿「御縁」オーナー)



S

- ・福山さんが、島に、何かできるとしたら？
- ・島に人が集まるアイデア、みんなで考えてみた。
- ・島の可能性に触れて、みんな、何を感じただろう？

NA

「島で生きる人。島を離れる人。どちらが正しい、
という話では、きっとないんだろうと思う。」

「島に暮らしたみんなが、どこにしようと、
これからも島のことを思い続けている。
まずはそこから。」

「あなたも長崎の島をどうか体感してください。」

「青いぜ！長崎ブルーアイランズプロジェクト」